平成28年度障害児・者実態調査票（案）に対する障害者団体からの意見と対応のまとめ

〇意見を求めた障害者団体は10団体（別紙のとおり）内下記の団体から寄せられた意見とその対応をまとめたものである。
北九州市手をつなぐ育成会（親の会）、北九州LD親の会すばる、北九州市自閉症児者の未来を考える会、北九州精神障害者家族連絡会（あかつき会）、北九州精神障害者福祉会連合会、北九州あゆみの会、北九州市障害福祉団体連絡協議会（障団連）

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
1	前説	共通	表紙	手をつなぐ	ご記入にあたって 「ご友人の方」「施設の方」の表記は「支援者」に変更したほうが良い。 代理記入の続き柄「例示」に、「父親」「兄弟」を入れたほうが良い。	×	あくまで例示の内容ですので、特に変更しません。 ※厚生労働省や県の調査票などを参考に作成しています。
2	前説	共通	表紙	障団連	ご記入にあたって 「本人に確認して、**代理で記入**してください。」は代筆ではないか。 表記を整理してほしい。	〇	対応済み（補足追加） 「本人に確認して、**代筆（又は代理で記入）**してください。」に変更しました。
3	調査項目 質問内容	共通	全般	あゆみの会	〇ヶ月の表記は「〇カ月」ではないのか。	〇	対応済み 「〇か月」に変更しました。 ※県の調査票を参考にしました。
4	調査項目 質問内容	共通	全般	手をつなぐ	「お住まい」は「住まい」でよいのでは。	×	誤った表現ではないので、特に変更しません。 ※厚生労働省や県の調査票などを参考に作成しています。
5	調査項目 質問内容	共通	全般	手をつなぐ	「問〇〇で・・・とお答えの方」は、「問〇〇で・・・に〇をつけた方」に。	×	誤った表現ではないので、特に変更しません。 ※厚生労働省や県の調査票などを参考に作成しています。
6	調査対象	共通	全般	身障協会	選択肢の後の副問などへの誘導矢印が多いので、少しまとめてわかりやすくしてほしい。	×	1行1行、個別に次の設問に案内するようにしています。 レイアウト最終工程において、対応できるところは、対応を検討します。
7	調査対象	共通	全般	あかつき	障害福祉サービスの内容の説明を丁寧にしてほしい。	△	一部、対応済み 調査票のほかに、サービス内容を説明する一覧を一緒に配布しています。（今回の事前説明でも同封配布済） これ以上の細かい内容は、個々に説明する必要があるため、窓口などで確認する必要があります。
8	調査項目 質問内容	共通	全般	障団連 （あかつき）	各項目に、自由意見を述べる欄を追加してほしい。	△	実態を把握するための設問のため、意見を徴するのは主旨に合わないことがあります。 選択が難しい場合には、「その他（具体的に　　）」の欄を設けており、自由に記載いただけます。 最後に、行政などへの意見や要望などの自由記載の欄を設けており、そちらを利用していただくようにします。
9	調査対象	発達	全般	自閉症	発達障害児・者の調査について、団体推薦から、どの年代を推薦すべきか迷う。 障害児との区別も難しい。 幅広く調査していただきたい。	〇	発達障害児・者については、団体推薦のほか、教育委員会の協力を得て、児童・生徒の保護者への調査協力を依頼する予定です。団体への推薦者依頼には、学童以外を中心とする幅広い年齢の推薦をお願いする旨、追記し、幅広く調査協力者を増やしていきます。 〔参考〕26年度実績・・・団体からの推薦者116名
10	調査全般 報告書	共通	全般	障団連	複数の障害種を重複してもつ障害者について、実態を把握してほしい。 調査結果を有効に活用して施策に活かしてほしい。	〇	全種の調査票に相互に他の障害の有無などを調査しており、重複障害の把握に努めたいと思います。 調査結果について、クロス集計などを活用し、より細やかに実態の把握に努めます。 集計方法や報告内容、項目の検討の際も、ぜひ、団体のご意見等をいただきながら、整理していきます。
11	調査対象	身体	全般	障団連	前回の調査では、身体障害者の年齢分布が、65歳以上が7割近くを占めており、世代に偏りがあるように思う。 ある程度、各世代を調査対象としてほしい。	△	調査は、完全無作為抽出のため、特に、身体障害者の世代構成が調査結果にそのまま反映されます。 世代ごとのニーズの把握のため、抽出調整の方法などについては、引き続き検討させていただきます。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
12	調査項目 質問内容	共通	身体2、20 知的2、18 精神2、34 障害児2、19 発達2、17 難病2、17	身障協会	本人（介助者）の性別について 01.男性 02.女性 に、第3の選択肢「答えたくない」を追加してほしい。	○	対応済み（選択数を追加） 「**03.答えたくない**」 を追加しました。
13	調査項目 質問内容	精神	精神4	あかつき	副問 「**身体障害者手帳**の等級は･･･」	○	対応済み（誤記修正） 副問 「**精神障害者保健福祉手帳**の等級は･･･」
14	調査項目 質問内容	知的	知的5 障害児9	障団連 手をつなぐ	知的障害について 副問 診断名の明確な選択は難しい。	○	対応済み（選択数制限を廃止） （○は**いくつでも**） に変更しました。
15	調査項目 質問内容	共通	身体6、8 障害児6	あゆみの会	「出生時」の読み	×	「出生」は、「しゅっしょう」と読みます。（例；出生届） 現在は「しゅっせい」とも読みますが、誤った表記ではありませんので「しゅっしょうじ」と表記します。
16	調査項目 質問内容	共通	身体6、8 障害児6	身障協会	「出生時」に先天性疾患も含まれるのか、 「病気」との関係性がわかりにくい。	○	対応済み（選択肢に補足説明） 01.出生時**（先天性の障害を含む）** 補足説明を追加しました。
17	調査項目 質問内容	共通	身体5、7 知的8 障害児5、7 難病7	障団連	主な障害の種類の表記が難しい。 （表記が変更になっている） 07.脳原性運動機能障害	○	対応済み（選択肢に補足説明） 07.脳原性運動機能障害**（脳性まひ）** 補足説明を追加しました。
18	調査項目 質問内容	共通	身体9 知的6 精神5 障害児11 発達8 難病4	あゆみの会	障害があるとわかったときについて 01.出生時 02.0歳～ 違いが分かりにくい。	○	対応済み（文言変更） 障害があるとわかったときについて 01.**生まれたとき** 02.0歳～ に変更しました。
19	調査項目 質問内容	精神	精神6 障害児10	障団連	精神障害について 副問 診断名の明確な選択は難しい。	○	対応済み（選択数制限を廃止） （○は**いくつでも**） に変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
20	調査項目 質問内容	共通	身体10 知的7 精神7 障害児8 発達4 難病8	未来を 考える会	手帳などの所有状況について 3つ以上の複数の手帳を所持している人が回答できない。	○	対応済み（選択数制限を廃止） （○は**いくつでも**） に変更しました。
21	調査項目 質問内容	共通	障害児8	あゆみの会	手帳などの所有状況で、「療育手帳を持っている」回答をした場合の障害の診断名の質問があってない。	○	対応済み（誤記修正） 手帳の保有状況に応じた質問に並びを変更しました。
22	調査項目 質問内容	発達	身体11 知的9 精神8 障害児12 発達5 難病9	自閉症	発達障害について、 副問 診断名の明確な選択は難しい。	○	対応済み（選択数制限を廃止） （○は**いくつでも**） に変更しました。
23				あゆみの会	発達障害について、 副問 診断名に、「自閉症スペクトラム症」を追加してほしい。	○	対応済み（選択肢を追加） 「**06.自閉症スペクトラム症**」 を追加しました。 ※「自閉症スペクトラム症」は他の選択肢を含む概念と思われますが、診断名でつけられている方が多いようなので、選択数の制限もないため、併記しても問題はないと判断しました。
24				障団連	発達障害の専門医以外の医師に受診するときについて、 「問　あなたが発達障害の専門医でない医師を受診するときに・・・」という言葉が分かりにくいので、「その他の診療科を受診するとき・・・」のように変更してほしい。	○	対応済み（設問文言を修正） 「問　あなたが**上記以外の医師（**発達障害の専門医ではない医師**）**を受診するときに・・・」に変更しました。
25	調査項目 質問内容	共通	身体12 知10 精神9 障害児13 発達9 難病4、5	難病連	難病の補足説明で、「特定疾患」は、誤りでは？ 調査対象となる難病の範囲を正確に。	○	対応済み（誤記修正） 難病の補足説明を「難病（**障害者総合支援法の対象疾病**）」に修正しました。
25	調査項目 質問内容	共通	知的10 精神9 障害児13	障団連 手をつなぐ	難病疾患の「認定を受けていない」回答後の次の問いへの案内について、 次の設問の番号が間違っている。	○	対応済み（誤記修正） 次の設問番号に修正
26	調査項目 質問内容	共通	身体12	身障協会	難病疾患の副問の補足説明、 設問の番号が間違っている。	○	対応済み（誤記修正） 正しい設問番号に修正
27	調査項目 質問内容	共通	身体13 知的11 精神10 障害児14 発達10 難病10	障団連 身障協会	高次脳機能障害について、 副問 関連障害の種類の表記が難しい。 また、明確な選択は難しい。	○	対応済み（選択肢項目追加） 関連障害に、補足説明を追加しました。 01. 記憶障害（前向健忘**、新しいことが覚えられない**） 02. 記憶障害（逆向健忘**、以前のことが覚(おぼ)えられない**） 03. 全般性注意障害（**集中が続かない**） 04. 半側空間無視（**食事のとき片側を残す。同じ側の物によくぶつかる**） また、「12.**分からない**」を追加しました。 また、選択数制限を廃止し、（**○はいくつでも**）に変更しました。
28	調査項目 質問内容	共通	身体14 知的12 精神11 障害児15 発達11 難病11	身障協会	医療ケアについて、 医療ケアに（訪問看護）を追記すべきではないか。 また、「鼻腔」のよみは「ビクウ」 また、医療ケアに家族が行うものを含むなら、その旨追記してほしい。	△	一部対応済み 今回の調査は自宅で受けている家族による医療ケアも含むものなので、「（訪問看護）」は追記しません。 「鼻腔」の読みは「**ビクウ**」に修正しました。 設問を、「受けている医療ケア**（家族が行う介助を含む）**は何ですか」に修正しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
29	調査項目 質問内容	共通	身体16 知的14 精神14 発達13 難病13	障団連 LD親の会	現在の住まいからの引越しについて、 引っ越したい理由に「家が古い」「親から自立したい」を加えてほしい。	○	対応済み（選択肢項目追加） 「02.**家が古い**」 「09.**家族などから自立したい**」 を追加しました。
30				あかつき	現在の住まいからの引越しについて、 引っ越したい理由に「家族とのトラブル」を加えてほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。 なお、新たに「08.家族などから自立したい」を追加しました。
31	調査項目 質問内容	共通	精神23.30 障害児50 発達63	あかつき	福祉施設を利用するときに困ることについて、「行政の交通費補助が少ない」を追加してほしい。	○	対応済み（選択肢項目追加） 「交通費や利用料などの金銭的負担が大きい」
32	調査項目 質問内容	共通	身体19 知的17 精神33 発達16 難病16	あかつき	各作業項目でどれくらい支援が必要かについて、 「上手にできないが、一人でできる」という選択肢は必要なのか。	×	前回の調査では15～20%の方が回答している選択肢ですので、有効と考えますので削除はしません。
33				障団連	作業項目でどれくらい支援が必要かについて、 「服薬」ではなく、「薬を適切に飲むこと」に変更してほしい。	×	他の作業項目についても、「適切に」「適正に」・・・行うこと前提として支援の必要性の有無を問うものであり、薬を飲むことにのみ「適切に」を加えることはそぐわない（例；買い物の場合、必要なもののみを購入し、正しく代金を支払うことなど）ため、「適切に」は追加しません。
34				障団連	作業項目でどれくらい支援が必要かについて、 「時間を管理すること」など時間を把握し適切に行動できるかを問う質問を追加してほしい。	×	各作業項目の支援の有無についての設問は、生活していくうえで、必要な支援の内容を調査し、サービスメニューや量を把握するためのものです。 「時間の管理」といった漠然とした生活全般にかかわる項目は作業とは異なり、サービスなどの施策に繋がりにくいため、追加できません。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
35	調査全般 報告書	共通	身体20 知的18 精神34 障害児19 発達17 難病17	障団連 自閉症	介助している家族への質問、調査を行ってほしい。	△	一部、対応済み この調査は、障害者本人に回答してもらうことを原則としているため、家族に向けた設問を大幅に追加することはできません。 なお、介助している家族についての副問を増やし、実態を把握できるように対応しました。
36				LD親の会	介助している人について、 「介助」を「支援」に変えてほしい。	×	「介助」とは、そばに付き添って動作などを手助けすること、ですが、「支援」となると、力を貸して助けること（労力や金銭などの面で、その活動や事業を助ける）と広い意味になります。 「親無き後」の検証のためにも、身近に付き添い直接動作を手助けする人を調査対象とするため、変更しません。
37				障団連 身障協会	介助している人について、 選択肢の「民間介助サービス」と他の「ホームヘルパー」、「雇用人」との区別が分かりにくい。	○	対応済み（選択肢に補足説明を追加） 公的サービスや家政婦とは別に自費負担で契約しているサービスを想定しています。 「民間介助サービス**（自費）**」 補足説明を追加しました。
38				未来を 考える会 手をつなぐ 身障協会 あゆみの会	介助している人について、 （1）その方は何歳ですか。 04.**20**歳代 06.60歳**以上**	○	対応済み（誤記修正） （1）その方は何歳ですか。 04.**40**歳代 06.60歳**代** に修正しました。
39				あゆみの会	介助している人について、 （1）その方は健康ですか。 01.**よい** 02.**ふつう** 03.**よくない** 表記が気になる。	○	対応済み（選択肢変更） 介助している人について、 （1）その方は健康ですか。 01.**健康である** 02.**通院していないが健康に不安がある** 03.**病気がちである（通院している）** 上記の選択肢に変更しました。
40	調査全般 報告書	共通	身体21 知的19 （精神27） 発達18 難病18	障団連 身障協会	これから誰と暮らしたいかについて、 「06.友達と暮らしたい」に 仲間を追加してほしい。	○	対応済み（選択肢変更） これから誰と暮らしたいかについて、 「06.友達**や仲間**と暮らしたい」 に変更しました。
41	調査全般 報告書	共通	身体22 知的20 （精神27） 発達19 難病19	障団連 身障協会	これからどのようなところで暮らしたいかについて、 「04.公営住宅」に UR都市機構は含まれるのか？	○	対応済み（選択肢変更） これからどのようなところで暮らしたいかについて、 選択肢を、URを含む「公営」の住宅に変更しました。 「04.**公共**賃貸住宅**（公営やURなど）**」 また、補足説明を追加しました。
42	調査項目 質問内容	精神	精神27	あかつき	退院したくない、分からない理由について、 回答選択肢に ・地域の支援が充分とは思えない。 ・退院しても人間関係が怖い。 ・ACT的な生活支援がない。 ・家族（親・兄弟）が退院を反対している。 を追加してほしい。	×	一部、対応済み この設問には、「03.地域に戻ることに不安を感じる」などの選択肢がすでにあり、同類の内容や細かい具体例での選択肢を増やすことはできません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
43	調査項目 質問内容	精神	精神31	障団連	心身の状態によって、日常生活動作に変動があるか、設問を追加してほしい。	○	対応済み（副問の追加） **副問　心の状態に応じて、日常生活動作（ADL：食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動）に変化はありますか。** **01.あまり変化はない** **02.少し変化がある** **03.かなり変化する** **04.時によって異なる** **05.わからない** 副門を追加しました。 また、これに併せて続く日常生活動作の設問でも「**心の状態が悪いとき、**」を追加しました。
44	調査項目 質問内容	共通	身体23 知的21 精神35 障害児20 発達20 難病20	障団連	問　**福祉用具（福祉ロボットを始めとした最新の機器）に関心がありますか**。 01. **関心がある** 02. **関心はない** 福祉用具の補足説明が分かりにくい。 また、用具全般について、幅広く必要性や関心を聞いてほしい。 その中で、福祉ロボットへの関心や、装具のレンタル制度への関心を調査してほしい。	○	対応済み（選択肢変更） 問　あなたは、**どんな福祉用具に必要性を感じる、又は関心がありますか**。 01. **介助ベッドなどの家具** 02. **介助式車椅子などの移動機器** 03. **入浴用リフトなどの入浴介助機器** 04. **義肢や装具** 05. **コミュニケーション支援機器** 06. **福祉ロボット** 07. **その他（具体的に　　）** 08. **福祉用具は必要ない、又は**関心がない 09. **よく分からない** 変更しました。
45	調査項目 質問内容	共通	身体24 知的22 精神36 障害児21 発達22	あかつき	日中のすごし方について、 唯一の選択は難しい。	○	対応済み（選択数制限を廃止） （○は**いくつでも**） に変更しました。
46				手をつなぐ	日中のすごし方について、 回答選択肢 03. 就労移行支援・就労継続支援・小規模共同**作業所**などに行く 04.生活介護**に行く** 08.ボランティア**に行く**	○	対応済み（誤字修正） 03. 就労移行支援**事業所**・就労継続支援**事業所**・小規模共同作業所などに行く 04.生活介護**事業所**に行く 08.ボランティア**活動に参加する** **に**修正しました。
47	調査項目 質問内容	障害児	障害児22	未来を 考える会	回答（3） 09.ボランティアに行きた	○	対応済み（誤記修正） 09.ボランティアに行きた**い** **に**修正しました。
48	調査項目 質問内容	共通	身体25 知的23 精神37 障害児23 発達21 難病21	障団連 手をつなぐ 身障協会	地域で生活していくためには、 回答選択肢 02. 障害者に適した**住所**の確保 10.特に**心配**はない 誤記ではないか。	○	対応済み（誤字修正） 02. 障害者に適した**住居**の確保 10.特に**必要**はない に修正しました。
49				あかつき	地域で生活していくためには、 回答選択肢に、「24時間365日生活支援を中心にした支援」「緊急時に病院などへ搬送サービス（支援）」「一時避難所（ショートステイ）」を追加してほしい。	△	一部、対応済み この設問には、「03.必要な在宅サービスの確保」や「06.緊急時や・・・」「家族の負担軽減」などの選択肢をすでにあり、同類の内容で、これ以上、細かい具体例での選択肢を増やすことはできません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
50	調査項目 質問内容	共通		障団連 身障協会	問　あなたが生きがいと感じていることは何ですか。 01.仕事 02.余暇活動 03.社会的活動 04.その他（　　） 特に、「03.社会的活動」について、意味が曖昧な気がする。 設問の主旨が分からない。	■	設問削除 ※平成23年度の調査に置いて、フォローアップ委員から、「精神障害者の地域移行において、地域での生活に生きがいを感じられず、定着できない実態を把握してほしい。」との要望があり、新設されました。その後、平成26年度の調査で、「精神障害に限った内容ではない」とのことで、全障害種に拡大されています。 しかし、障害者の地域移行に求められることについての設問は別にあり、また、前回の調査において「無回答」が25%以上であること、この設問の解答を直接、施策に反映することが難しいことなどから、削除したいと思います。
51	調査項目 質問内容	共通		障団連	問　あなたの将来の目標は何ですか。 01.一人暮らしがしたい 02.友人がほしい 03.働きたい 04.ボランティアをしたい 05.その他（　　） 設問の主旨が分からない。	■	設問削除 ※平成23年度の調査に置いて、フォローアップ委員から、「精神障害者が地域での生活で、何をしたら良いかわからなくなっている実態を把握してほしい。」との要望があり、新設されました。その後、平成26年度の調査で、「精神障害に限った内容ではない」とのことで、全障害種に拡大されています。 しかし、回答の選択肢にある「一人で暮らしをすること」や「働くこと」は、障害者の地域移行に求められることについての設問は別にあり、また、前回の調査において「無回答」が30%近くにのぼること、この設問の解答を直接、施策に反映することが難しいことなどから、削除したいと思います。
52				あかつき	将来の目標について、 回答選択肢に「夢・希望が持てる社会・地域」を追加してほしい。		
53	調査項目 質問内容	発達	発達24	LD親の会	学校などでの障害の理解について、 「理解されていないと思う理由」、「学校に障害のことを伝えていない理由」の自由記載欄を大きくしてほしい。	△	すでに対応済み 前回までの調査では、ほとんど記載がありませんでしたが、すでに前回より「自由記載」欄を大きくしています。
54	調査項目 質問内容	共通	障害児24 発達25	LD親の会	学校・教育で困っていることについて、 「クラブ活動に参加できない」を加えてほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることできません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
55	調査項目 質問内容	共通	身体26 知的24 精神38 障害児25 発達26 難病22	手をつなぐ	主にどんな収入ではたらいているかについて、 回答選択肢 02. 自分で働いた収入（**作業所**等でもらう賃金を含む） に、事業所を追加してほしい。	○	対応済み（誤字修正） 02. 自分で働いた収入（**事業所や作業所**等でもらう賃金を含む）
56	調査項目 質問内容	共通	身体27 知的25 精神39 発達27 難病23	あかつき	1ヶ月の収入について 「自分で働いた収入」「家族からの小遣いや仕送り」は別項目でそれぞれ金額を記入して、収入状況を把握してほしい。	△	一部対応済み 自分で働いた収入は、後の項目ですでに設問があります。 仕送りや小遣いの状況は、個々の家族の状況により異なり、施策には繋がりませんので、設問を細かに追加しません。
57	調査項目 質問内容	共通	身体28 知的26 精神40 障害児27 発達28 難病24	障団連	問　あなたが支払う1か月の医療費かかっている病院すべて）について、 薬局等は含まれているのか。	○	対応済み（設問文言追加） 問　あなたが支払う1か月の医療費かかっている病院**、薬局等**すべて）について、 に変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
58	調査項目 質問内容	共通	身体29 知的27 精神41 障害児28 発達29 難病25	手をつなぐ LD親の会	公的な年金や手当などの受給について、 選択肢を追加してほしい。	○	対応済み（選択肢追加） 01. **障害基礎年金** 02. **障害厚生年金** 03. **障害手当金（厚生年金）** 04. **障害児福祉手当** 05. **特別児童扶養手当** 06. **特別障害者手当** 07. **その他** 自由記載の回答をやめ、選択肢を追加しました。
59				障団連	公的な年金や手当などの受給について、 副問2　受けていない理由のうち、 「02.受ける資格がない」 は理由が限定的なので、「受けられない」に 変更してほしい。	○	対応済み（選択肢修正） 「02. **受けられない**（受ける資格がない）」 に修正し、補足説明を追加しました。
60				あかつき	副問2について、選択肢に ・制度を利用するための支援がいる。 を追加してほしい。	○	対応済み（選択肢追加） 「受けていない理由」に合うような選択肢として 「03. **手続きの仕方が分からない**」 を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
61	調査項目 質問内容	共通	身体31 知的29 精神43 発達31 難病27	あかつき	副問3　勤務形態の設問に対する解答に 「ジョブコーチが付いている」 「会社の理解、援助がある」を追加してほしい。	×	この設問は、障害者本人の雇用形態を問うものですので、選択肢にはそぐわないため、追加できません。 また、これらの必要性の確認は、後の設問に含まれています。
62				手をつなぐ	仕事について 副問8　仕事をやめた理由に、「ハラスメントを受けた」を追加してほしい。	○	回答選択肢に、 「職場でハラスメント（パワハラやセクハラなど）を受けたため」
62				手をつなぐ	仕事について 副問9　仕事をしていない理由を1つだけ選ぶのは難しい	○	対応済み（選択数制限を廃止） （○は**いくつでも**） に変更しました。
63				LD親の会	副問9　仕事をしていない理由について、 「職場に理解がない」、「クビになった」 を追加してほしい。	△	一部、対応済み（別に設問を追加） 要望の追加項目は、いずれも既存の回答選択肢「働く場または適した仕事がないため 」に含まれる内容です。 就労支援に繋げるための設問であり、就労の意思がありながら勤務先がない方を一つに集計するため、追加しません。 なお、離職した理由を問う設問は別に設けました。
64				あかつき	副問9　仕事をしていない理由について、 「ひきこもりのため」 を追加してほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の回答を総括するような回答を選択肢に加えることはできません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
65	調査項目 質問内容	発達	発達31	LD親の会	職場などでの障害の理解について、 副問7、8 「理解されていないと思う理由」、「学校に障害のことを伝えていない理由」の自由記載欄を大きくしてほしい。	△	すでに対応済み 前回までの調査では、ほとんど記載がありませんでしたが、すでに前回より「自由記載」欄を大きくしています。
66	調査項目 質問内容	共通	身体32 知的30 精神44 発達32 難病28	障団連	働くために必要なことについて、 「16.仕事についての職場外での相談対応や支援」は、言葉が曖昧なので、わかりやすくしてほしい。	○	対応済み（文言修正） 「16.仕事**上の悩みを聞いてくれる**職場外での相談**窓口があること**」 に変更しました。
67				障団連	働くために必要なことについて、 「職場での介助」 を追加してほしい。	○	対応済み（選択肢追加） 「**17.職場での介助**」 を追加しました。
68	調査項目 質問内容	共通	身体33 知的31 精神45 障害児29 発達33 難病29	障団連 手をつなぐ 自閉症	外出状況とは、余暇を含むのか。	○	対応済み（修正） 設問に、「**通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなど、**」を加え、すべての外出を含む質問であることが分かるように変更しました。
69	調査全般 報告書	共通	身体34 知的32 精神46 障害児30 発達34 難病30	あゆみの会	外出するときの手段について、 「施設の車輌」 を加えてほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
70	調査項目 質問内容	共通	身体35 知的33 精神47 障害児31 発達35 難病31	障団連	外出時の介助者について、 副問 外出時の主な介助者の種類は 09.**ホームヘルパー** は限定的。「ヘルパー」に変更したほうが良い。	○	対応済み（修正） 09. **ヘルパー** に変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
71	調査項目 質問内容	共通	身体36 知的34 精神48 障害児32 発達36 難病32	あかつき	外出するときに困ったことについて、 「公衆電話が少ない」を追加してほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
73				障団連	外出するときの手段について、 移動支援への新たな要望（グループ利用や通学支援）などを把握できる項目を増やしてほしい。	×	新たな要望や課題は把握してはいますが、前回の調査で自由記載欄にもほとんど回答に無く、他の設問同様、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 利用できずに困っている個別事案として、自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄を活用していただきます。
74	調査項目 質問内容	共通	身体37 知的35 精神49 障害児33 発達37 難病33	手をつなぐ	公共施設を利用するときに困ったことについて、 05.車椅子使用者のトイレが少ない のほかに「介助者が入れるトイレが少ない」を追加してほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
75				あかつき	公共施設を利用するときに困ったことについて、 「施設間（内？）にエスカレーターが少ない」を追加してほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
76				障団連	公共施設を利用するときに困ったことについて、 「08.障害者が利用**する**設備や施設の配置・・・」は、「障害者が利用できる設備や施設の配置・・・」では。 また、「09.・・・スタッフからの説明や表示がわかりにくい」では、表示は別に表記にするなどわかりやすくしてほしい。	○	対応済み（内容修正） 「08.障害者が利用**できる**設備や施設の配置・・・」 「09.**設備などの利用説明の表示や**対応するスタッフからの説明が分かりにくい」 に変更しました。
77	調査項目 質問内容	共通	身体41 知的39 精神53 障害児37 発達41 難病37	障団連	余暇活動や社会的活動を行うに必要なものについて、 「08. 活動に関する相談**支援**」 相談体制では。	○	対応済み（文言修正） 余暇活動や社会的活動を行うに必要なものについて、 「08. 活動に関する相談**窓口**」 に変更しました。
78	調査項目 質問内容	共通	身体42,43 知的40,41 精神54,55 障害児38,39 発達42,43 難病38,39	障団連	リハビリなどの支援について、 「03. 福祉機器の**適合支援**」 活用支援では。	○	対応済み（文言修正） リハビリなどの支援について、 「06. 福祉機器の**適合相談・活用支援**」 に変更しました。
79	調査項目 質問内容	共通	身体45 知的43 精神57 障害児41 発達45 難病41	障団連	相談機関について、計画相談支援サービスの利用実態や有効性などについての設問項目を追加してほしい。 問 あなたが実際に利用したことのある相談機関はどれですか。	△	一部、対応済み この設問の主旨は、日頃の生活の悩み相談についての問いであるため、設問を区別して対応します。 問 あなたが**生活に関する悩みや不安等について、**実際に**相談したことのある機関**はどれですか。 なお、計画相談支援サービスについては、別の障害福祉サービス」についての設問で対応しています。
80	調査項目	共通		身障協会	相談機関に行った際の交通手段について、 「自家用車（友人・知人が運転）」を加えてほしい。	―	設問削除 ※平成26年度の調査において、相談機関に対する要望などを把握する指標として新設されましたが、経年で実態が変化する項目ではないこと、外出時の交通手段と、ほぼ同じ回答が得られるものと考えられること、などの理由から設問を削除します。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
81	調査項目 質問内容	共通		障団連	外出時の交通手段の設問と重複するのではないか。	■	なお、他にある外出時の交通手段についての設問においても、 前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
82	調査項目 質問内容	共通		障団連	相談機関までの移動にかかる時間について、 この設問は必要なのか。	■	※※平成26年度の調査において、相談機関に対する要望などを把握する指標として新設しましたが、経年で実態が変化する項目ではないこと、外出時の交通手段と、ほぼ同じ回答が得られるものと考えられること、などの理由から設問を削除します。 なお、次に続く設問で「身近な相談窓口」の要望を把握する設問を追加しました。
83	調査項目 質問内容	共通	身体46 知的44 精神58 障害児42 発達46 難病42	身障協会	どのような相談機関が必要かについて、 「問　今後、**特にどんな相談機関が必要だ**と思いますか。」 という設問を、何が必要か、を問う設問に変更してほしい。 また、「相談内容が分かりにくい」といわれる実態を反映する選択肢を追加してほしい。	○	対応済み（設問変更） 問　今後、**相談機関に、特に何が必要だ**と思いますか。 01. 相談したい内容についての専門的な知識**や**技術 02. 問題が解決するまで相談にのってくれる**体制** 03. 相談できる内容が分かりやすく整理された仕組み 04. 障害者が気軽に相談できる窓口 05. **身近なところで相談にのってもらえる仕組み** 06. その他（具体的に　　） 07. 新たな**機能や**機関は必要ない 08. 分からない に変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
84	調査項目 質問内容	共通	身体48 知的46 精神63 発達51 障害児44 難病44	障団連	かかりつけ医や専門医以外の医師に受診するさいに困ることについて 「03.障害を理解してくれる医師が**いない**」は「少ない」に変更してほしい。	○	対応済み（文言修正） 「03.障害を理解してくれる医師が**少ない**」 に変更しました。
85				あかつき	かかりつけ医や専門医以外の医師に受診するさいに困ることについて 「主治医が次々変わって困る」を追加してほしい。	×	この設問は、かかりつけ医や専門医以外の、一般の医師（歯医者や眼科など）にかかるときに困ることについての設問です。 選択肢にはそぐわないため、追加できません。
86	調査項目 質問内容	共通	身体50 知的48 精神65 発達55 難病50	障団連	介護保険サービスを利用していない人の選択肢の案内が不適切	○	対応済み（誤記修正） 次の設問番号に修正しました。
87				あかつき	65歳問題についての設問も追加してほしい。	×	問題の存在はすでに把握しており、制度の改正が始まっていますので、改めて問題の有無などについて実態を調査する設問は追加しません。 なお、併用状況を把握するための介護認定状況の調査項目は新たに追加して対応しています。
88	調査項目 質問内容	共通		障団連	相談支援事業の利用について 区役所や基幹センターを利用したら、この事業を利用したことになるのか？ 障害福祉サービスの利用にあたるのか？	■	設問削除 相談窓口の利用状況は、他の設問で確認できる。 また、相談支援事業とは、区役所と基幹センターが連携して「障害福祉サービス」を提供する体制そのものであり、サービスの利用量調査にそぐわないため、設問を削除します。
89	調査項目 質問内容	共通	身体64 知的62 精神79 障害児59 発達73 難病64	障団連	あなたに必要なコミュニケーション支援について、 「08.言語障害に対する支援」の補足説明に、音声ソフト（アプリ）などを追加してほしい。	○	対応済み（補足説明の追加） 「08.言語障害に対する支援（**音声ソフトや**絵カードなどの利用」 に変更しました。
90	調査項目 質問内容	共通	身体65 知的63 精神80 障害児60 発達74 難病65	障団連	災害時に必要な情報を手に入れる方法について、 「06.市が提供する障害者への避難情報」は、視覚・聴覚障害者に対する避難情報のことか？	○	対応済み（文言の修正） 「06.市が提供する視覚・聴覚障害者に対する避難情報」 に変更しました。
91	調査項目 質問内容	共通	身体67 知的65 精神82 障害児62 発達76 難病67	障団連 あかつき	災害時に一人で避難できるかについて、 問　あなたは、**大雨や台風などの災害が発生したとき、**一人で避難できますか。 「地震災害」を追加してほしい。	○	対応済み（文言の修正） あなたは、**災害が発生したとき、**一人で避難できますか。 ※前問と重なる記載のため、一部、省略しました。
92				障団連	「一人で避難」の説明が分かりずらい。 『「一人で避難」とは「避難情報の入手⇒判断や⇒避難場所の確認⇒逃げる行為⇒避難所での一時待機」など一連の行動を指します。』 ただ、避難するのではなく、正しく適切な避難	○	対応済み（文言の修正） 『「一人で避難」とは**「避難情報を入手した場合に、適切に状況を把握して避難を決断し、速やかに指定の避難場所に安全に避難（避難所で一時待機）する」**など一連の行動を指します。』 に変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
93	調査項目 質問内容	共通	身体69 知的67 精神84 障害児64 発達78 難病69	障団連 自閉症	災害時に必要な支援について、設問、選択肢が分かりにくい。 熊本地震での状況を踏まえ避難所での問題点を切り出してほしい。 問 あなたにとって、**災害時に特に必要な支援は何だと思いますか**。 01. 避難の声かけ、誘導等 02. 避難時の介助 03. 補助用具の提供 04. 投薬、透析などの医療支援 05. 障害者のための専用の避難所 06. 災害情報や避難情報の提供 07. 周囲とのコミュニケーション支援 08. 社会福祉士やカウンセラーなどの専門員の派遣 09. その他（具体的に　　） 10. 特に必要ない 11. 分からない	○	対応済み（文言の修正） あなたにとって、**災害時に特に必要な支援は何ですか**。 01. 避難**のときに、**声かけや誘導など**をしてくれること** 02. 避難**のときに、**介助**してくれること** 03. **必要な**補助用具を提供**してくれること** 04. 投薬や透析などの**専門的な**医療支援**を受けられること** 05. **避難所などで、障害に配慮した環境が確保されること** 06. **避難のときや避難所などで、障害について周囲からの理解が得られること** 07. 災害情報や避難情報など**がわかりやすい表示板や放送で**提供**されること** 08. 周囲とのコミュニケーションを支援**してくれること** 09. 社会福祉士やカウンセラーなどの専門員を派遣**してもらえること** 10.**指定避難所以外の場所に避難している人も支援してもらえること** 11. その他（具体的に　　） 12. 特に必要ない 13. 分からない に変更しました。
94	調査項目 質問内容	共通	身体70 知的68 精神85 障害児65 発達79 難病70	障団連	差別を受けたりいやな思いをしたことについて、 副問1　どのような**場所**で差別やいやな思いをしましたか。 どのような場面では。	○	対応済み（文言修正） 副問1　どのような**場面**で差別やいやな思いをしましたか。 に修正しました。
95	調査項目 質問内容	共通	身体72 知的70 精神87 障害児67 発達81 難病72	あかつき	差別やいやな思いを減らすために･･･に、 「公共の場所やバス、JRなどの車内に障害差別をなくすための公告を出す。」 を追加してほしい。	△	一部、対応済み この設問では、「01.北九州市が････などで啓発する」の選択肢をすでに設けています。 同類の内容で、これ以上、細かい具体例での選択肢を増やすことはできません。 また、具体的な行政の取り組みとしては、後の設問で「01.啓発・広報活動の推進」を設けており、それぞれ既存の選択肢で回答いただきます。
96	調査項目 質問内容	共通	身体74 知的72 精神89 障害児69 発達83 難病74	障団連	問　障害者理解を進めていくために、市役所がどのような取り組みをすることが･･･ 誰に対してか、分かりにくい。	×	行政の施策全般にかかる設問になるので、「○○に対して」との文言は追加すると限定的なイメージになるので、変更しません。

No.	項目	障害種別	設問番号	団体	意　見	対応有無	対　応
97	調査項目 質問内容	共通	身体75 知的73 精神90 障害児71 発達85 難病75	手をつなぐ	これから力を入れて取り組んでほしいこと 05.**障害事業所**等の物品やサービス･･･ 表記がおかしいのでは。	○	対応済み（誤字修正） これから力を入れて取り組んでほしいこと 05.**障害福祉サービス事業所**等の物品やサービス･･･ 正しい名称に修正しました。
98				あかつき	これから力を入れて取り組んでほしいこと 「家族への支援」、「病状悪化の時の支援」を追加してほしい。	×	前回の調査で自由記載欄にもほとんど無かった回答や、個別の事案を選択肢に加えることは対応できません。 自由記載の「その他（具体的に　　）」の欄で、対応させていただきます。
99	調査項目 質問内容	共通	同封物品について	障団連 手をつなぐ	「どうぞ**お気軽**にお使い下さい。」について、「お気軽に」は不要では？	○	対応済み（文言修正） 「お気軽に」を削除。 →　どうぞお使い下さい。